

| 脇町高等学校様

演習量確保で学習時間を維持、週末課題で自主学習を支援

導入前の課題

- 生徒の学習時間調査で、学習時間が年々減少傾向にあることが課題となっていた。
- コマ数が減少した教科では、従来実施していた小テストの時間が確保しにくいという課題があった。
- 学習時間増加への動機づけや生徒の自主学習を継続させる仕組みが不足していた。

導入の決め手

- 前年度に希望者向けに導入しており、使い方などが確認できていたため、学年導入に踏み切りやすかったこと。
- 動画視聴中心の教材ではなく、演習量を確保できる教材を求めていたこと。
- 紙中心の運用に加えてデジタル教材を併用することで、学習時間増加に向けた新たなアプローチが可能になること。

導入後の効果

- 数学・国語では週末課題として活用。数学では定着度を測る利用として小テストを代替できた。
- 学校全体としては学習時間が減少傾向にある中で、導入した学年は前年度並みの学習時間を維持。学習時間の下げ止まりに一定の効果となった。

画像出典: 脇町高等学校HP(<https://wakimachi-hs.tokushima-ec.ed.jp/intro>)より

ご利用状況

校名 : 徳島県立 脇町高等学校
所在地 : 徳島県美馬市
導入学年: 高2生
利用目的: 課題配信ツールとして
URL : <https://wakimachi-hs.tokushima-ec.ed.jp/>